

【大発見！】戦前の記録写真を活用した取り組みをはじめました！



昭和10年頃の福島駅停車場線の写真
＜舗装工事完成後の竣工写真と思われる1枚＞
現在のまちなか広場から福島駅方向を撮影



昭和10年頃の施工状況写真
＜コンクリート工事施工中の1枚＞
現在のレンガ通りと県庁通りの交差点の位置

県北建設事務所では、約80年前（昭和10年頃）に撮影されたと思われる写真約120枚を書庫の奥底より発見しました。写真は現在の福島市や伊達市等で行われた道路、橋りょう等の工事記録です。発見された写真からは、当時の施工は、ほとんどが人力であり、私たちの社会資本が多くの人の手によって整備されてきたことが理解できるものとなっています。

当事務所では、これらの記録写真を生かした取り組みとして、事務所HP上に「今昔フォトギャラリー」を開設しました。フォトギャラリーには、当時と同じ位置で写真を撮影し、エピソードを加えて掲載することで、時代の変化がわかるようにしています。

今後の展開として、パネル展の開催等を予定しており、今回発見された貴重な写真を地域の魅力発見や未来を担う子供たちなどが建設業への理解を促進するために活用していきます。

ホームページ上では、当時と同じ位置で撮影した現在の写真と対比して紹介しています！

県北建設 今昔フォトギャラリー 記録No.1 福島駅前通り

昭和10年頃の姿（戦前）

平成30年の姿



【当時の写真の概要】

現在のパセオ通りとの交差点から福島駅を望み、写真右側には福ビル（現在のまちなか広場）が建っている。その前に当時の現場監督が立ちカメラを見つめている。
これは、昭和初期の舗装工事（混泥土施工）の完成を祝う竣工写真であると推定されます。
※混泥土＝コンクリート

【当時の写真より気づいた点】

- ＞ 道路左側に線路があり、路面電車が走っていた。
- ＞ 車が一般に普及する前でありながら、車道の幅が広く、歩道もある。
- ＞ センターラインなど白線はまだ無いようす。

【当時を知る人からのひとこと】

＞ 「明治時代の頃から、道路沿いの青柳が綺麗だったので「青柳通り」と呼ばれていたよ。」

TUFテレビュー福島の「Nスタふくしま」等で取り組みについて取り上げられました！



【災害から命を守るため】防災に関する出前講座を実施しました！

土砂災害防止月間である6月に、当事務所では福島市立の3つの小学校で「災害からいのちを守るために」というテーマの「防災教育出前講座」を実施しました。

児童の皆さんは、土砂災害等の自然災害が「どうして起きるのか?」、「普段からどのような心構えや備えをすればよいのか?」という内容について熱心に学習しているようでした。

当事務所では、今後も6校で出前講座を予定しており、これからも継続的に防災教育を支援していきます。災害はいつ起きるかは誰にもわかりません。普段から十分な心構えをもって生活していきましょう。



杉妻小学校での出前講座ようす



平田小学校での出前講座のようす

地域の方々の「道路や河川の美化活動」の支援を行っています！

県北建設事務所では、5月29日（火）に「うつくしまの道・川サポート制度」の合意締結式を開催しました。この締結式では、二本松市杉田6区代表 高橋区長と二本松市 丹治建設部長、当事務所 堀田所長が道路と河川の美化活動のため、お互いに支援していく内容が記載されたサポート制度の合意書に調印しました。

当事務所では、現在道サポート31団体、川サポート17団体が合意書を締結しています。今後とも、地域の皆さまの活動を支援してまいります。



(前列左より2人目から右へ)
合意書を持つ丹治部長、高橋区長、堀田所長

【サポート制度って何?】

「地域の実施団体」と「市町村」、「県」の三者が協働して、道路や河川の清掃・美化活動を行うために締結するものです。各々の役割分担は以下の通りです。

実施団体

道路や河川の清掃美化活動を実施

市町村

- ・実施団体及び県との連絡調整
- ・回収したゴミなどの処分に協力等

県

- ・清掃用具等の貸与や支給
- ・傷害保険の契約の実施等

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

